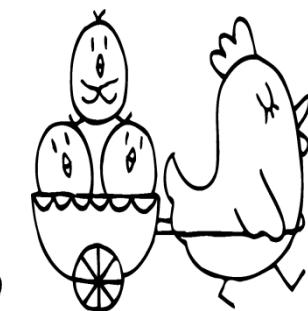


ひよこだより

草笛学園 2025年11月号



11月になり、肌寒くなってきました。寒さはありますが、日差しが心地よく、外で思いっきり遊べる気候になっていますね。落ち葉やどんぐり探しなど、秋ならではの外遊びができるといいなと思います。体調管理をしつつ、秋を楽しみましょう！



よくばりな心

生後10か月から生まれた友だちの発見したものへの憧れの心は、この1歳半ころには、ますます強くなっています。ちょっと手を放したときに、あそんでいたおもちゃを友だちが「拝借」してしまってはいることは日常茶飯事ですし、直接手をかけて奪い取られてしまうこともあるでしょう。これは、みんなお互いさまのはずです。「あなたのものは、わたしのもの」という理屈でもできているような段階です。こんな欲張りさのために取り合いのけんかが絶えません。互いに一歩も譲らず、たいせつなものを相手に貸してあげるなんて、想像もつかないほど欲張りなときです。それほどに、友だちのあそんでいるものは、どんなものでも輝いてみえるでしょう。そして、どんなものでも自分が興味をもって集めはじめたものは、宝物なのです。

しかし、この段階は、本当の所有関係の認識も芽生えてくるときです。保育所では、子どもたちの椅子やロッカーや汚れ物入れに一人ひとりの動物マークなどを貼っているでしょう。こんな手がかりによって、「自分のもの」をはっきり意識し、もし自分の椅子に友だちが座ろうものなら、力強く取り戻そうとすることでしょう。それほどまでに、自分と他者を意識しはじめる段階なのです。このよくばりさを生み出している、「じぶんの！じぶんの！」という自我の強さが、他者ではない自分の世界を強めていくエネルギーになります。

（少し先のお話になりますが…）

さし出した手を受けとめてもらえるだろうか

どんなに所有権の主張をくり返し合いながら、険悪な関係をつくっていても、やはり、友だちは友だちです。友だちの持っているものが欲しいだけではなく、友だちそのものが欲しいのです。だから、リズムあそびのときなど、手をつなぎたくて、そっと友だちに手をさしの

べてみます。しかし、そのさしのべた手を相手の友だちが受けとめてくれるかどうか、不安でたまらないのです。ときには、一人の友だちに二人の友だちが同時に手をさしのべてしまうこともあるかもしれません。「三角関係」です。そんなとき、自分の手を受けとめてもらえなかった友だちは、悲しくて悲しくてどうしようもありません、そこで、先生が登場し、別の友だちを探してきてあげなくてはなりません、悲しい思いはしても、自分の手を受けとめてくれる友だちがいたならば、いっぺんに心は晴れます。それほどに、友だちと手をつなぎ合えるというのは、うれしいことなのです。

このように友だちを求める心は、友だちと場を共有し合う楽しさがわかりはじめ、友だちと向かい合うこと、友だちと手をつなぐことの具体的な楽しさを経験する中で芽生えてきたものです。したがって、友だちの輪をつくりあげていくためにまずはいつなことは、心の高まりを友だちと共有しうる「場」をつくり出すことでしょう。

参考文献 『発達の扉 上』 白石正久 著



次回のひよこ教室は…

ひよこ①・ひよこ② 12月6日(土)9:20～11:15

『せいさく(しーるはい)』

持ってくるもの: 着替え、お茶

※12月はひよこ①・ひよこ②を同時に開催しますので、
お間違えのないようにおこしください！



参加される皆様へ ～ご協力をお願いします～

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- ・参加費は無料です。（おたよりがホームページに掲載され、通信費が必要ないため）製作やクッキングの活動の時には材料費として100円いただきます。その都度連絡します
- ・水分補給のため、お茶を用意してください（ジュース類は控えてください）
- ・きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前に職員までご相談ください
- ・トラブルによるケガ防止のため、参加前に必ず爪を切ってきてください